

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX576／政治学基礎演習 (Introductory Seminar on Political Science)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	～日本とイタリアの憲法政治～		
担当者名 (Instructor)	一ノ瀬 佳也(ICHINOSE YOSHIYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX2910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	その他登録		

授業の目標(Course Objectives)

本演習は、政治学に関わる基礎的な文献を読むことによって、学生のプレゼンテーションやディスカッションの力をつけていくことを目標としている。特に、比較政治の観点から、日本とイタリアにおける憲法政治の歴史について学んでいく。

The objective of this seminar is that student improve their abilities of presentation and discussion by reading some elementary books concerning Politics. In particular, we have a perspective of Comparative Politics, and study History of Constitutional Politics in Japan and Italy.

授業の内容(Course Contents)

本演習においては政治学に関わる基礎的な文献を読みながら、プレゼンテーションやディスカッションの力をつけていくことになる。特に、比較政治の観点から、日本とイタリアの憲法政治の歴史について学んでいく。

この授業は「演習」形式で行われる。報告者がテキストの担当箇所についてのプレゼンを行い、その論点についてみんなで議論することを通じて理解を深めていく。

特定の予備知識を必要とするわけではないが、受講する学生には、授業において積極的に発言することが求められる。

In this seminar, we have a perspective of comparative politics and study History of Constitutional Politics in Japan and Italy.

This lecture have a style of seminar. Students will report the section of textbook that they are assigned, and deepen their understanding by discussing the issues with all member.

Lecturer doesn't ask to have any particular background knowledge to students in advance, but students attending this seminar are required to speak in this seminar positively.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 1930年代の日伊外務省
3. 東アジアの危機と枢軸の世界化
4. 新たな膨張をめぐるイメージ
5. 不従順な体制派：二人の駐英大使、ディーノ・グランディと吉田茂
6. 追隨する抑制者：二人の外務省ナンバー2 ジュゼッペ・バステリアニーニと有田八郎
7. 東アジアと枢軸をめぐる政治と情報
8. 前半のまとめ
9. 日伊両国に見る新憲法制定とラディカルな民主主義者たち：高野岩三郎とウンベルト・テツラチーニの新憲法への道程
10. 立憲民主主義の知的オーガナイザー：高野岩三郎のラディカルな憲法構想に向かうネットワーク
11. 民主共和国への孤独な伴走者：ウンベルト・テツラチーニの公正な法治と寛容をめぐる戦い(前半)
12. 民主共和国への孤独な伴走者：ウンベルト・テツラチーニの公正な法治と寛容をめぐる戦い(後半)
13. 丸山眞男：イタリアとの比較に見るラディカル・デモクラット像
14. 後半のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

受講生は毎回指定された範囲のテキストを事前に読み、コメントペーパーを提出する

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業への参加度(20%)／プレゼンテーション(30%)／コメントペーパー(30%)／最終レポート(20%)

テキスト(Textbooks)

1. 石田憲、2015、『日独伊三国同盟の起源：イタリア・日本からみた枢軸外交』、講談社 (ISBN:978-4062585552)
2. 石田憲、2019、『戦後憲法を造った人々：日本とイタリアにおけるラディカルな民主主義』、有志舎 (ISBN:978-4-908672-28-6)

参考文献(Readings)

1. 伊藤武、2016、『イタリア現代史 - 第二次世界大戦からベルルスコーニ後まで』、中央公論社 (ISBN:978-4121023568)
2. 石田憲、2011、『ファシストの戦争—世界史的文脈で読むエチオピア戦争』、千倉書房 (ISBN:978-4805109809)
3. 石田憲、2007、『膨張する帝国 拡散する帝国—第二次大戦に向かう日英とアジア』、東京大学出版会 (ISBN:978-4130301442)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<選考方法>

採用人数:20名前後

配当年次:1年次

選考方法:レポート

- ① 題目:本演習で履修する動機とテーマについての関心を自由に書いてください。
- ② 字数:1000字

注意事項(Notice)